

< 検討にあたっての共通の方向性 >

- 「安全・安心・快適な環境のあるまちづくり」をめざす
- 私たちの「身近な生活環境」を出発点とする
- 身近な生活環境に関する取組は地域、国境を越えて地球全体の環境につながる構造を理解する
- 他自治体等と共通する取組や施策は積極的に取り入れ、「新宿」独自の課題の抽出と取組を効率的に考える
- 大都市・「新宿」の特徴を踏まえる 外国人居住者や昼間人口の大半を成す在勤者等の「半日区民」や、ターミナルを通過するだけの人をいかに巻き込んでいくか

検討のキーワード

まち美化・美観
暮らしやすい住環境

資源循環の促進

温暖化防止の取組

緑化・生態系保全

環境と経済の融合

環境教育・学習

地域の特色・相違を踏まえる視点

「新宿」の特徴(外国人、「半日区民」、通過者の存在)を踏まえる視点

時間軸 = 過去から2025年までを見通した視点

「3つの市民」の協働の視点

モラル、マナー
ホームレス
生活、ゴミ
都市環境
大気汚染

リサイクル
エネルギー

CO2
建築物
大気汚染
エネルギー

自然環境
小さなみどり
街路樹
公園、建築物

中小企業(サー
ビス業を含む)
の取組支援、エ
コ・ビジネスの展
開

教育の必要性
学校での取組

地区

身近な身の回りのレベル

家庭
一人ひとりの区民

企業

モラル・意識

独自の取組 = ISO、EA21

地域での取組レベル

- ・住宅地域
- ・商業地域(繁華街、歌舞伎町)
- ・緩衝地域……

地域

区全体のレベル

行政

新宿区

サポート(情報・財政)

第4分科会 今後の進め方(案)

	共通ワーク	グループワーク
8月	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区の環境を客観的に把握する(環境基本計画等のポイント整理、環境白書等各種データの活用による学習) テーマごとの勉強会(講師:区民委員、学識委員、区担当者) テーマに関連した行政評価の考察(説明:区担当者) 	<ul style="list-style-type: none"> 個別テーマごとにグルーピング 役割の分担(班長・進行役、記録、現地調査、資料収集等) 現地調査のスケジューリング 比較や分析のための資料・情報収集
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> 世話人(正副)の選出(区民委員より) 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の把握と課題の洗い出し(例:ノミナル・グループ・プロセス手法) 現地調査の結果や資料等の分析・整理
11月		<ul style="list-style-type: none"> 区民・企業・行政それぞれの取組の視点で各施策・取組の成果と課題について整理(必要に応じて指標の作成)
12月	<ul style="list-style-type: none"> 分科会としての方向性とまとめ(班長・世話人) 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとの中間レポート作成